



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,860	1.3	1,428	△16.0	1,433	△17.0	892	△16.5
2022年3月期第1四半期	11,711	8.1	1,701	24.9	1,727	26.4	1,070	29.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 976百万円 (△13.9%) 2022年3月期第1四半期 1,134百万円 (36.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	45.24	—
2022年3月期第1四半期	54.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,323	26,150	74.2
2022年3月期	33,828	25,796	74.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 25,460百万円 2022年3月期 25,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.50	—	30.00	49.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	20.50	—	31.00	51.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	23,216	△0.1	2,789	△14.7	2,789	△8.1	1,750	△14.2	88.66
通期	47,249	0.8	5,083	△19.5	5,083	△20.5	3,277	△21.4	166.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	20,060,000株	2022年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	320,866株	2022年3月期	320,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	19,739,134株	2022年3月期1Q	19,739,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、引き続きコロナウイルス感染症による影響を受けているものの、ワクチンの接種および感染対策の浸透により、当社グループが行っている事業への影響は軽微に留まりました。

国内の雇用情勢については、厚生労働省が発表した有効求人倍率(季節調整値)は、2022年4月～6月の平均値が1.25倍となり、2021年4月～6月の平均値と比べ、0.14ポイント上昇いたしました。また、総務省が発表した完全失業率(季節調整値)は、2022年4月～6月の平均値が2.6%となり、2021年4月～6月の平均値と比べ、0.3ポイント低下いたしました。前年同期と比較して、求人数が増加、失業率が低下しており、人材の獲得は難しくなっております。なお、当社グループの主要顧客である、医薬品・化学・食品メーカーなどの研究所・品質管理部門および、大学・公的機関の研究所から寄せられる、新規の派遣依頼および受注数については、コロナ前の水準を上回りました。

人材サービス事業においては、2022年5月13日に発表した中長期経営計画に基づき、社員の待遇改善に着手いたしました。現在就業中の派遣社員に対しては2022年7月より報酬改定を行い、新規の派遣依頼については改定した報酬に基づいて求人募集活動を行っております。あわせて、派遣社員以外の当社グループ従業員については、4月より報酬のベースアップを実施いたしました。また、派遣サービスプラットフォーム「ドコニコ」の改良および顧客・派遣社員への浸透活動をより一層進めるとともに、ドコニコによる業務効率化の効果を最大限に発揮できるよう、営業組織の再編にも着手いたしました。

(中長期経営計画 <https://www.wdbhd.co.jp/assets/pdf/ir/about/management-policy220513.pdf>)

CRO事業については、堅調に業績が推移いたしました。フィンランドの子会社については、ウクライナ情勢の影響が懸念されるものの、現状では事業への影響はありません。また、CROサービスプラットフォームについても開発を進め、業務効率化および新規サービスの開始を目指しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,860百万円(前年同期比1.3%増)となりました。営業利益は、1,428百万円(前年同期比16.0%減)、経常利益は、1,433百万円(前年同期比17.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、892百万円(前年同期比16.5%減)となりました。また、当社が重視している指標である、売上高営業利益率は12.0%、売上高経常利益率は12.1%となりました。増収減益となっている主な要因は、営業日数が前年同期と比較して1日少なかったことと、当社グループ従業員の報酬のベースアップに伴う、販管費の増加であります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

※セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

①人材サービス事業

当セグメントの売上高は、10,274百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は、1,398百万円(前年同期比10.5%減)となりました。主に、営業日数が前年同期と比較して1日少なかったことと、当社グループ従業員のベースアップに伴う販管費の増加により、増収減益となりました。なお、中長期経営計画において公表しております、派遣社員の待遇改善は、2022年7月1日より実施いたしましたので、当第1四半期連結累計期間の業績には影響していません。

②CRO事業

当セグメントの売上高は、1,586百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益は、179百万円(前年同期比19.9%減)となりました。WDBココにおいて、今後に向けての投資を行い、コストが増加したこと、アメリカでの受注が振るわなかったことから、増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態については、総資産は34,323百万円となり、前連結会計年度末と比較して、494百万円の増加となりました。負債は8,172百万円となり、前連結会計年度末と比較して、140百万円の増加となりました。純資産は26,150百万円となり、前連結会計年度末と比較して、354百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想および配当について、2022年5月13日に発表した数字からの変更はありません。

なお、第1四半期の営業利益、経常利益、純利益については、例年に比べ進捗率が高くなってはおりますが、これは第2四半期以降にスタッフの待遇を改善する影響を見越しているためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,426,445	16,315,453
売掛金及び契約資産	6,045,337	6,281,699
棚卸資産	38,094	38,514
その他	585,117	983,714
流動資産合計	23,094,995	23,619,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,489,203	1,467,656
土地	6,798,672	6,798,672
その他(純額)	310,682	361,544
有形固定資産合計	8,598,558	8,627,873
無形固定資産		
のれん	95,610	71,305
その他	63,015	63,823
無形固定資産合計	158,626	135,128
投資その他の資産		
投資有価証券	91,343	91,486
敷金及び保証金	779,735	821,341
繰延税金資産	819,007	736,632
その他	286,204	291,311
投資その他の資産合計	1,976,291	1,940,773
固定資産合計	10,733,476	10,703,775
資産合計	33,828,472	34,323,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,239,785	2,557,475
未払金	357,265	230,654
未払法人税等	1,238,007	485,563
未払消費税等	857,341	1,041,674
賞与引当金	700,325	628,237
その他	1,167,653	1,730,068
流動負債合計	6,560,379	6,673,674
固定負債		
役員退職慰労引当金	486,950	492,944
退職給付に係る負債	493,321	495,666
資産除去債務	268,673	269,423
その他	222,720	240,669
固定負債合計	1,471,665	1,498,703
負債合計	8,032,044	8,172,377

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	669,833	669,833
利益剰余金	24,505,499	24,806,294
自己株式	△1,018,690	△1,018,690
株主資本合計	25,156,642	25,457,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,693	15,792
為替換算調整勘定	24,654	63,784
退職給付に係る調整累計額	△83,870	△76,195
その他の包括利益累計額合計	△43,522	3,381
非支配株主持分	683,307	689,960
純資産合計	25,796,427	26,150,779
負債純資産合計	33,828,472	34,323,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	11,711,451	11,860,434
売上原価	8,466,255	8,796,938
売上総利益	3,245,195	3,063,495
販売費及び一般管理費	1,543,274	1,634,699
営業利益	1,701,920	1,428,796
営業外収益		
助成金収入	5,589	3,052
消費税等免税益	13,209	479
その他	8,326	2,299
営業外収益合計	27,125	5,831
営業外費用		
その他	1,700	675
営業外費用合計	1,700	675
経常利益	1,727,345	1,433,952
特別損失		
固定資産除却損	6,061	—
特別損失合計	6,061	—
税金等調整前四半期純利益	1,721,284	1,433,952
法人税、住民税及び事業税	483,603	426,123
法人税等調整額	126,459	78,632
法人税等合計	610,063	504,755
四半期純利益	1,111,221	929,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,216	36,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070,004	892,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,111,221	929,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△598	99
為替換算調整勘定	22,969	39,129
退職給付に係る調整額	1,054	8,547
その他の包括利益合計	23,425	47,776
四半期包括利益	1,134,646	976,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,093,412	939,873
非支配株主に係る四半期包括利益	41,233	37,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,194,923	1,455,899	11,650,822	60,628	11,711,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,511	—	20,511	—	20,511
計	10,215,434	1,455,899	11,671,333	60,628	11,731,962
セグメント利益又は損失 (△)	1,562,562	223,683	1,786,246	△2,611	1,783,635

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,786,246
「その他」の区分の損失(△)	△2,611
全社費用(注)	△81,714
四半期連結損益計算書の営業利益	1,701,920

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

		顧客との契約から 生じる収益	計
人材サービス事業	人材派遣	9,948,310	10,194,923
	人材紹介	246,612	
CRO事業	国内会社	870,434	1,455,899
	海外会社	585,464	
報告セグメント計			11,650,822
その他(注)			60,628
合計			11,711,451

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	人材サービス事業	CRO事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	10,274,295	1,586,138	11,860,434	11,860,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,493	—	9,493	9,493
計	10,283,788	1,586,138	11,869,927	11,869,927
セグメント利益	1,398,970	179,160	1,578,131	1,578,131

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,578,131
全社費用(注)	△149,335
四半期連結損益計算書の営業利益	1,428,796

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

		顧客との契約から生じる収益	計
人材サービス事業	人材派遣	10,034,071	10,274,295
	人材紹介	240,224	
CRO事業	国内会社	1,035,799	1,586,138
	海外会社	550,338	
報告セグメント計			11,860,434
合計			11,860,434

(重要な後発事象)

(当社サーバー等への不正アクセスについて)

2022年8月1日、当社サーバー等に第三者による不正アクセスを受けていることを確認しました。現在、原因及び被害の範囲について調査中であります。

なお、当連結会計年度の財政状態及び経営成績に与える影響については、現時点で調査中であるため合理的に算定できません。